

# イオンのCO2削減の取り組みについて

2010年2月8日  
イオン株式会社  
グループ環境社会貢献部  
部長 泊 健守

# イオンについての紹介



## 営業実績

(2009年2月期、連結ベース)

営業収益 52,300億円

営業利益 1,890億円

## グループ企業数

182 社

### Number of Stores and Settlement Report\*1

Number of stores	FY2008	FY2007
General merchandise stores (GMS)*2	966	942
Supermarkets	1,059	1,001
Supercenters	16	14
Department stores	1	1
Home centers	80	69
Convenience stores*3	3,270	3,082
Specialty stores	4,748	4,518
Financial services	395	233
Food services	505	533
Services	1,116	1,069
Drugstores*4	2,342	1,730



イオンは、2012年度に2006年度比で、CO2総排出量を30%削減するという目標を掲げています。

1. 店舗での設備・仕組による削減 50万トン
2. 商品・物流における削減 57万トン  
(商品 29万トン 物流28万トン)
3. お客さまとともに取り組む削減 31万トン



# 店舗での設備・仕組による削減の取組



店舗

50万t削減

## 1、エコストア開発と既存店への技術展開

- ・従来の店舗に比べてCO2の排出量を20%以上削減できるエコストアを開発します。
- ・エコストアで得られたノウハウ、技術を既存店舗に展開していきます。

## 2、店舗従業員による省エネルギー活動の推進

- ・電気使用量を「見える化」し、省エネ活動を全社で推進します。

### エコストアでの主な取組

#### 「イオン越谷レイクタウン」の事例

省エネルギー

緑化



ハイブリッドエコシステム



苔タイル

ソーラーパネル



約4000㎡

都市ガスを利用して、電力の40%を発電。また、発電時の排熱を冷房に利用して空調の70%をまかなう省エネシステム。

### 従業員による省エネ活動

#### 「イオンリテール」での挑戦

#### 電力使用量削減グラフ



#### テレビのエコ照明



店舗間で競争し、3ヶ月間で、  
電力消費量を前年比8.2%の削減。



# 商品・物流による削減の取組



## 商品 物流

57万t削減

### 1、商品のライフサイクルで排出されるCO2を削減

商品の原料調達、製造、輸送販売、使用段階におけるCO2排出量削減を進めます。

### 2、商品の輸送効率の向上などでCO2を削減

商品の積載効率の向上や環境配慮車輛の導入などでCO2排出量の削減を進めます。



バイオディーゼルの使用  
(グリーンアイ有機栽培バナナ)



輸送距離の削減＋積載効率の向上  
(トップバリュティッシュペーパー)

消費電力の削減  
(トップバリュ電球型蛍光灯)



詰め替え商品の拡販  
(トップバリュおふろ洗剤)



容器の薄肉化・減量化



配送効率の改善＋リサイクルペット使用  
(トップバリュレディースフリース)



# お客様と共に取組むCO2削減



お客様と  
ともに

31万t削減

## 1、植樹活動を推進

1991年より国内外で実施している「イオンふるさとの森づくり」や(財)イオン環境財団による植樹活動の累計植樹本数を2012年度には累計で1,100万本をめざします。

## 2、買物袋持参運動の拡大

2012年までに無料配布中止店舗を1,000店舗に拡大します。

### 植樹活動

マレーシアでの  
植樹活動

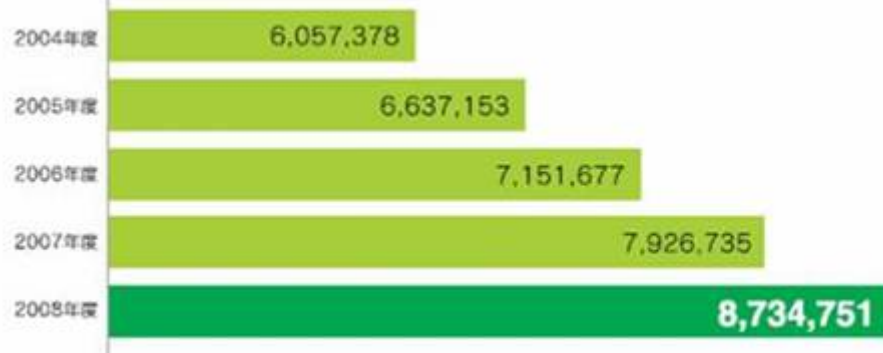
2004年



2008年



類型植樹本数 (単位:本)



### 買物袋持参運動



省資源効果 (イオン合計)  
石油ドラム缶 (200 )

約 **70,194** 本分の節約



# イオンがカーボンフットプリントに取り組む理由



## 環境

カーボンフットプリント表示でお客様のCO2削減をお手伝い。

商品にカーボンフットプリントをつけると、商品のCO2排出量が、一目でわかるようになります。トップバリュでは、現在、商品開発段階でのCO2の可視化をめざしており、お客様が買い物を通じて、CO2を下げる商品選択ができるように、お手伝いをしたいと考えています。



## 経済性

ムダを省くことでCO2とコストを削減。価格も削減へ。



電気の使用を節約するとCO2削減そして、家計も節約できるのと同じように、商品の製造工程のムダを、CO2の見える化を通して発見して、地球にも家計にも優しい商品を提供をしていきます。

## 安心・安全

原材料から、細く把握することでトレーサビリティを担保。

カーボンフットプリント計測では、原料調達の際の、運送方法、輸送ルートなど、細かく把握していきます。原料から廃棄までの商品のプロセスの詳細把握を通じてトレーサビリティの向上をめざします。





# 国のカーボンフットプリント制度の活用



## 国の制度を活用して検証を受けたイオンのPB商品



## CFPの取組—「滋賀県産こしひかり」の事例



滋賀県の学生・JAの皆様と共に、「グリーンアイ 特別栽培米こしひかり」の栽培に関わって琵琶湖の環境を守るための活動を実施しました。活動の一貫として、立命館大学のサポートを得て、カーボンフットプリントの算定にも挑戦しました。

2009年5月  
田植えの実施



2009年6月  
ニゴロブナの子魚の放流



2009年11月  
カーボンフットプリント検証通過



協力: JA北びわこ、全国農業協同組合連合滋賀県本部、  
NPO法人旅するお魚サポーター、  
彦根市立佐和山小学校5年生の皆さん、  
立命館大学びわこ・くさつキャンパス環境システム研究室





# CFPの取組—「滋賀県産こしひかり」の店頭販売



店頭でのVP



定番売場



# CFPの取組—立命館大学による店頭での報告会



## 立命館大学の学生による講演 「カーボンフットプリントって何？」

1月16日(土)・17日(日)  
11:00～ 14:00～ 16:00～

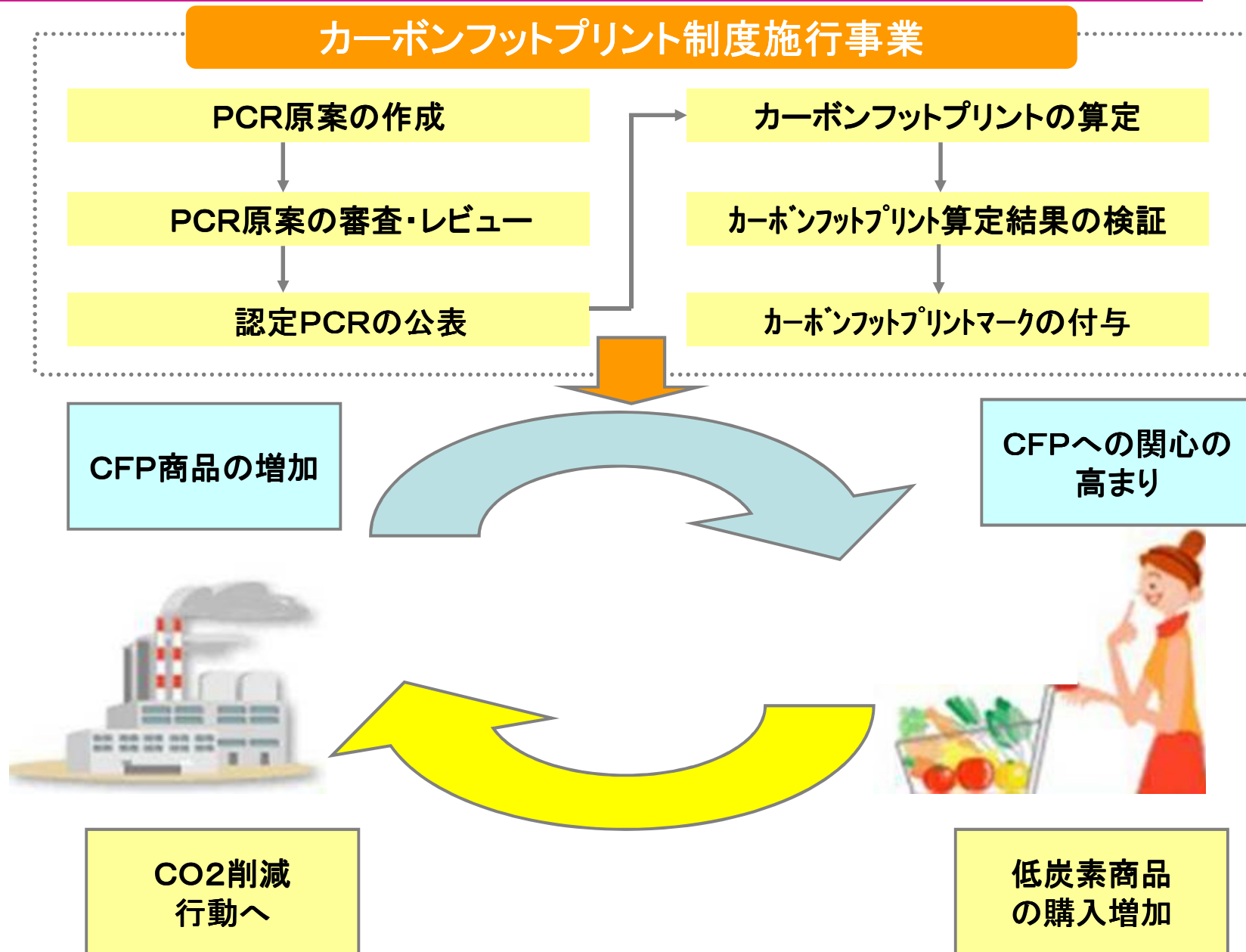
わかりやすく、好評でした。  
終了後の質問も有りました。



## お客様の声

「ニュースで見た。いいことだから、  
がんばって」  
「いつから、どこで、どんな商品に  
マークがつくの」  
「滋賀県産以外のお米だとCO2が  
あがるの？」  
「CO2 7.7kgってどのくらい」  
「最初は、何でも大変だけど、続けて  
欲しい。」

## 今後の課題





ご静聴ありがとうございました。

- ・イオンの環境社会保全活動に関する情報

**<http://www.aeon.info/environment/>**

- ・イオンの植樹活動に関する情報

**<http://www.japangreen.tv/act/#/000406>**